

# 医者も知らない平穩死



連載42

〈長尾和宏〉長尾クリニック院長。日本尊厳死協会副理事長。著書に『平穩死』10の条件など。

「自宅で平穩死」を望んでいるなら、元氣なうちから、訪問薬剤師さん。も探しておくことをお勧めします。

薬剤師さんも、家を訪問してくれるの？  
そう思った方もいるでしょう。実は、

薬剤師さんも家を訪問でき

ます。「訪問薬剤師制度」がきちんとあるのです。

薬剤師さんの薬の知識は、当然のことながら医師より上です。薬の相互作用、副作用、飲み方の工夫などを教えてもらうには、薬剤師さんに頼るのが一番なのです。

ただ、私が訪問薬剤師制度を患者さんに伝えても、拒否されるケ

## 薬剤師も訪問できる



ースが結構あります。自己負担金が発生するからです。

先日、お宅を訪問した認知症の患者さんもうでした。患者さんには、内科から血糖コントロールの経口薬が食前30分のもので食直前のものの2種類、インスリン注射、精神科から認知症の薬が2種類、認知症の周辺症状を抑える薬、整形外科

から転倒時の鎮痛薬など、何種類もの薬が処方されています。

月曜日から日曜日の朝・昼・晩・寝る前に飲む薬を訪問看護師さんが仕分けし、袋に入れてくれますが、全く飲んでいません。時間の感覚がないので、識別できないのです。

うと、「お金を取られるのは嫌や」という返事。この患者さんの場合の自己負担額は500円です。比較

的にお金に余裕がある方なのですが、認知症を発症し、家に来るといって欲しいので、服薬管理が甘いと、病状は進行しますし、合併症も出やすくなります。ぜひ皆さんには、普段から訪問薬剤師さんへの理解を深めていって欲しいのです。

(写真はイメージ)